

## 2019 年度薬理学関連教科担当教員会議 議事録

日時：2019 年 8 月 29 日（木）13:30～16:30

場所：北里大学白金キャンパス 大村記念ホール

議長：栗原 順一（2019 年度委員長：帝京大学）

出席者：89 名（別添 1）

（配布資料）

資料 1：薬理学関連教科担当教員会議名簿

資料 2：平成 31 年度（第 6 回）薬学教育教科担当教員中央会議 議事録

資料 3：薬理学関連教科担当教員会議会則

資料 4：薬理学関連教科担当教員会議役員（案）

資料 5：第 104 回薬剤師国家試験問題検討委員会報告書

資料 6：日薬理誌「薬理学エデュケーター認定制度について」

資料 7-1：平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関するアンケート

資料 7-2：アンケート調査結果報告（薬理関連領域版）

資料 8：高等教育政策の動向と薬学教育モデル・コアカリキュラムについて

議事次第（別添 2）に従って、下記の通りに審議、報告・意見交換、講演が行われた。

### 1) 審議事項

#### ① 2020 年度役員を選出

2020 年度の役員構成について、薬理学関連教科担当教員会議会則（資料 3）に基づいて役員会で作成・検討した案（資料 4）を全体会議に諮った結果、下記の原案通りに満場一致で決定した。

2020 年度薬理学関連教科担当教員会議役員会（任期：2020 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

委員長	比佐 博彰（九州保健福祉大学）
副委員長（国公立）	上原 孝（岡山大学）
副委員長（私立）	田中 芳夫（東邦大学）
参与（国公立）	石川 智久（静岡県立大学）
参与（私立東日本）	三澤 日出巳（慶応義塾大学）
参与（私立西日本）	川畑 篤史（近畿大学）
事務局	中原 努（北里大学）
事務局補佐	松尾 由理（北陸大学）

なお、昨年度に決議された 2019 年度役員会構成について、その後に退職・退任した役員の後任として田中 芳夫教授（東邦大学）が就任したことも合わせて報告された。

## 2) 報告事項

### ① 薬理学関連教科担当教員会議の会員名簿について

資料 1 に基づき、薬学教育協議会に登録された各大学の 2019 年度薬理学関連教科担当教員会議の会員の紹介があった。75 校から 121 名が登録されており、12 名が新任である。

### ② 平成 31 年度（第 6 回）薬学教育教科担当教員中央会議について

委員長より、資料 2 に基づき、標記会議への代理出席の報告があり、他分野の教員会議の活動状況や取組みが紹介された。また、モデル・コアカリキュラムの実施状況調査と次期改訂が話題に挙げられたことに鑑み、それらを今回の全体会議の教育講演のテーマとして取り上げたとの説明があった。

### ③ 第 104 回薬剤師国家試験問題検討委員会について

日本私立薬科大学協会の 2019 年度薬剤師国家試験問題検討委員会薬理学部会委員長を務めた松尾 由理教授（北陸大学）より、5 月 11 日（土）の検討委員会を経て作成された報告書（資料 5）の説明があった。

また、報告書の内容から浮かび上がった論点として、「新しい薬物や用法、機序をどのタイミングで、どこまで教えているのか」、「化学構造とどのように関連づけて薬理学を教えているのか」、「有機化学系の教員と連携できているか」という点について、教育プログラムの発展・充実を視野に入れた意見交換を行った。

### ④ 関連学会の活動について

日本薬学会薬理系薬学部会の部会長である橋本 均教授（大阪大学）より、「生体機能と創薬シンポジウム」、「次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム」の開催状況や今度の予定が報告された。また、文部科学省科研費の「薬理系薬学」への積極的な申請の呼びかけがあった。

日本薬理学会 企画教育委員会委員長の池谷 裕二教授（東京大学）より、資料 6 に基づいて、「薬理学エデュケーター認定制度」の趣旨と進捗状況が説明された。

## 3) 教育講演

下記 2 名の講師を招聘し、① 薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成 25 年度改訂版）の実施状況に関するアンケート調査の結果（資料 7）、② 2040 年に向けた高等教育のグランドデザインや薬学教育モデル・コアカリキュラムの次期改訂に向けた動き等（資料 8）について、理解を深めた。

講演 1 「平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関する調査・研究について」 2018 年度日本薬学会薬学教育委員 安原 智久 先生 (摂南大学)

講演 2 「高等教育政策の動向と薬学教育モデル・コアカリキュラムについて」

文部科学省 高等教育局医学教育課 薬学教育専門官 福島 哉史 様

#### 4) その他

次期委員長に決定した比佐 博彰教授より、次回の薬理学関連教科担当教員会議について、2020 年 8 月 27 日に北海道大学で開催される予定であるとの説明があった。また、同時期の共催となる「生体機能と創薬シンポジウム 2020」の委員長である南 雅文教授 (北海道大学) より、シンポジウムの開催概要の説明と参加の呼びかけがあった。

全体会議終了後、生体機能と創薬シンポジウム 2019 の企画として、名古屋市立大学副学長の今泉 祐治先生による特別講演「イオンチャネルとアカデミア創薬」があり、さらに、薬理学関連教科担当教員会議とシンポジウムとの合同の情報交換会が開催された。

以上

2019 年 9 月 26 日

## 2019年度 薬理学関連教科担当教員会議(8月29日)出席者名簿

大学名	氏名	氏名
北海道大学	○ 南 雅文	
北海道医療大学	○ 柳川 芳毅	
北海道科学大学	○ 佐藤 久美	× 高栗 郷
青森大学	× 齊藤 弘子	○ 益見 厚子
岩手医科大学	○ 弘瀬 雅教 (代理:奈良場博昭)	× 丹治(齊藤)麻希
東北大学	○ 福永 浩司	× 森口 茂樹
東北医科薬科大学	○ 丹野 孝一	
奥羽大学	○ 西屋 禎	
医療創生大学	○ 村田 和子	
国際医療福祉大学	○ 辻 稔	
高崎健康福祉大学	○ 松岡 功	× 吉田 真
城西大学	× 荻原 政彦	○ 岡崎 真理
日本大学	○ 石毛 久美子	○ 木澤 靖夫
日本薬科大学	○ 脇 能広	○ 小林 力
千葉大学	○ 村山 俊彦	× 中村 浩之
東邦大学	× 田中 芳夫	○ 田中 光
東京理科大学	○ 磯濱 洋一郎	○ 斎藤 顕宜
千葉科学大学	○ 安東 賢太郎	
城西国際大学	○ 堀江 俊治	○ 田嶋 公人
帝京平成大学	○ 清水 俊一	○ 山本 伸一郎
東京大学	○ 池谷 裕二	
北里大学	○ 田辺 光男	○ 中原 努
慶應義塾大学	○ 三澤 日出巳	○ 鈴木 岳之
昭和大学	○ 野部 浩司	× 沼澤 聡
星薬科大学	× 成田 年	○ 森 友久
東京薬科大学	○ 田野中 浩一	× 田村 和広
明治薬科大学	○ 大石 一彦	× 菱沼 滋
武蔵野大学	○ 阿部 和穂	
昭和薬科大学	○ 渡邊 泰男	
帝京大学	○ 栗原 順一	× 小野 景義
横浜薬科大学	○ 田邊 由幸	○ 出雲 信夫 (代理:伊藤芳久)
新潟薬科大学	○ 前田 武彦	
富山大学	○ 安東 嗣修	○ 恒枝 宏史
金沢大学	○ 金田 勝幸	
北陸大学	○ 松尾 由理	× 高橋 達雄
岐阜薬科大学	○ 原 英彰 (代理:嶋澤雅光)	○ 田中 宏幸
静岡県立大学	○ 石川 智久	
名古屋市立大学	○ 山村 壽男	× 桑 和彦

大学名	氏名	氏名
名城大学	× 野田 幸裕	○ 平松 正行
金城学院大学	○ 津嶋 宏美	× 福石 信之
愛知学院大学	○ 大井 義明	
鈴鹿医療科学大学	○ 藤川 隆彦	× 郡山 恵樹
立命館大学	× 北村 佳久	○ 天ヶ瀬 紀久子
京都大学	○ 金子 周司	
京都薬科大学	○ 田中 智之	○ 加藤 伸一
同志社女子大学	○ 土田 勝晴	× 藤井 健志
大阪大学	○ 橋本 均	
大阪薬科大学	× 松村 靖夫	○ 大野 行弘
近畿大学	○ 川畑 篤史	
摂南大学	○ 奈邊 健	
大阪大谷大学	○ 水口 博之	○ 綿野 智一
神戸学院大学	× 李 英培	○ 屋山 勝俊
神戸薬科大学	○ 小山 豊	
兵庫医療大学	○ 上田 晴康	× 小淵 修平
武庫川女子大学	× 篠塚 和正	○ 中村 一基 (代理:吉川紀子)
姫路獨協大学	○ 杉本 由美	
岡山大学	○ 上原 孝	
就実大学	× 見尾 光庸	× 西村 多美子
広島大学	○ 森岡 徳光	
安田女子大学	× 亀井 千晃	× 中西 博
福山大学	○ 田村 豊	× 渡邊 正知
広島国際大学	○ 福山 亮	
徳島大学	○ 藤野 裕道	
徳島文理大学	○ 喜多 紗斗美	
徳島文理大学香川薬学部	○ 山田 麻紀	
松山大学	○ 中島 光業	× 奥山 聡
山陽小野田市立山口東京理科大学	○ 木村 英雄	× 澁谷 典広
九州大学	○ 黒瀬 等	○ 津田 誠
第一薬科大学	○ 小松 生明	○ 有竹 浩介
福岡大学	○ 岩崎 克典	○ 桂林 秀太郎
長崎大学	○ 塚原 完	
長崎国際大学	○ 山口 拓	× 西奥 剛
熊本大学	○ 香月 博志	
崇城大学	○ 徳富 直史	
九州保健福祉大学	○ 山本 隆一 (代理:)蒲生修治)	○ 比佐 博彰

## 2019 年度薬理学関連教科担当教員会議

日時：2019 年 8 月 29 日（木）13:30～16:30

場所：北里大学白金キャンパス 大村記念ホール

### 次第

13:30～14:40：報告、審議、意見交換

- ① 委員長挨拶
- ② 新委員紹介（資料 1）
- ③ 平成 31 年度（第 6 回）薬学教育教科担当教員中央会議報告（資料 2）
- ④ 次年度役員を選出（資料 3、4）
- ⑤ 第 104 回薬剤師国家試験問題検討委員会報告と意見交換（資料 5）  
薬理学部会委員長 松尾 由理 先生（北陸大学）
- ⑥ 関連学会の活動報告（資料 6）
  - 日本薬学会薬理系薬学部会の活動について（大阪大学 橋本 均先生）
  - 薬理学エデュケーター認定制度の進捗状況について（東京大学 池谷 裕二 先生）

14:40：休憩

15:00～16:15：教育講演

講演 1（資料 7）

「平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関する調査・研究について」

2018 年度日本薬学会薬学教育委員 安原 智久 先生（摂南大学）

講演 2（資料 8）

「高等教育政策の動向と薬学教育モデル・コアカリキュラムについて」

文部科学省 高等教育局医学教育課 薬学教育専門官 福島 哉史 様

16:15：次年度本会議の案内、その他

16:30：閉会の辞

16:45～17:45 特別講演（シンポジウム企画）

「イオンチャンネルとアカデミア創薬」今泉 祐治 先生（名古屋市立大学副学長）

18:00～20:00 情報交換会（場所：2 号館学生食堂）シンポジウムと合同開催

(配布資料)

資料 1 : 薬理学関連教科担当教員会議名簿

資料 2 : 平成 31 年度 (第 6 回) 薬学教育教科担当教員中央会議 議事録

資料 3 : 薬理学関連教科担当教員会議会則

資料 4 : 薬理学関連教科担当教員会議役員 (案)

資料 5 : 第 104 回薬剤師国家試験問題検討委員会報告書

資料 6 : 日薬理誌「薬理学エドゥケーター認定制度について」

資料 7-1 : 平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関するアンケート

資料 7-2 : アンケート調査結果報告 (薬理関連領域版)

資料 8 : 高等教育政策の動向と薬学教育モデル・コアカリキュラムについて